

施設名称	特別養護老人ホーム谷中	指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
-------------	-------------	-----------------	------------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和61年10月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム三ノ輪
③経営状況	(20年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区谷中2-17-20
②設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
③利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
④開館日・時間	通年、24時間
⑤規模	延べ床面積 2,794.36㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 倉庫、居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、静養室、ボランティア室、談話室など
⑥人員体制	27名 (内訳)施設長(1), 事務員(1), 相談員(2), 介護職員(常勤17, 非常勤1), 看護職員(4), 栄養士(1)

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

○年間延べ利用者数(4月～3月)					○年度末入所者数(21年3月末)						
延利用者数	特養	ショート	合計	稼働率	要介護度	1	2	3	4	5	合計
19年度	17,252	2,458	19,710	96.2%	男性	0	0	1	6	3	10
20年度	17,231	2,725	19,956	97.6%	女性	0	0	8	13	17	38

5. 予算決算の推移 (単位:円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	67,457,000	61,309,000	51,437,000	35,859,000	58,610,000
	料金収入等	228,383,000	224,867,000	233,957,000	231,780,000	238,372,000
	管理経費	295,840,000	286,176,000	285,394,000	267,639,000	296,982,000
決 算	委託料	43,843,047	43,843,047	36,502,840	35,859,000	
	料金収入等	239,848,186	234,246,845	252,773,473	249,934,024	
	管理経費	276,507,439	268,131,891	262,505,070	265,867,207	
	収 支	7,183,794	9,958,001	26,771,243	19,925,817	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
入所定員(ショートステイ含む)	人	56	56	56	56
利用率(特養+ショート)	%	98.0	96.2	97.6	

7. 評価項目	3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目
----------------	--

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [1] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [3] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

8. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。定期的に地元町会と合同の総合防災訓練を実施するなど、緊急時に対する準備も良くできている。
②施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、適切に実施されている。
③利用者の満足度	A+	満足度調査では、利用者からの評価は概ね高く、年に3回の家族懇談会を開くなど直接要望を伺う機会を設けている。また、谷中小学校との交流など、地域との連携も十分に図られている。
④歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。利用料金収入を増額する工夫や収支の改善に取り組んでいく必要がある。
⑤総合評価	A	施設の管理運営については全体的に良好である。今後も引き続き収支の改善に取り組んでいく必要がある。

9. 課題への対応等

満足度調査における利用者からの満足度が高く、家族懇談会の開催等直接要望を伺う機会を設けるなど、サービス水準の向上に努めている。また、建物の保守点検、維持管理などについても適切に実施されている。

今後も利用者からの高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、収支の改善に取り組んでいくなどの経営努力を継続していくことが求められる。